

実践課程の見える化や 多職種連携を実現する生活支援記録法研修会

～マイクロ・~~ミ~~・マクロレベルでの活用を期待して～

私たちの業務で記録をする事は必須です。どのような援助やケアを行ったか、振り返る事は沢山あります。経過記録を活用する機会はあるにしても、実践を可視化できているか不明な点もあります。今回は、生活支援記録法の研修を受け、より見える化した記録ができるようにみなさん達と一緒に学ぶ事が出来ればと思います。

※ご参考まで 生活支援記録法 (F-SOIP)

<http://seikatsu.care/>

講師 埼玉県立大学 保健医療福祉部
准教授 畠末 憲子先生

日時 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 15:00~16:30
受付開始は 14:30~

会場 鮎田まちづくりセンター2階生活工房室
〒861-4121 熊本市南区会富町 1333-1
[地図を見る](#) (ctrl キーを押して下さい)

対象 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・介護保険事業所
介護保険施設や医療機関(MSW・看護師など)に従事している職員など

定員 50 名 (定員を超えた場合は職種別に調整します。)

申し込み方法 熊本市高齢者支援センター ささえりあ鮎田

問合せ先: TEL 096-227-1695 まで

アドレス: sa-akita@globe.ocn.ne.jp

メールにて所属先 参加者氏名 連絡先を記入してお申し込み下さい。

FAX の場合は別紙申し込み用紙にご記入いただき 096-227-6477 まで送信下さい。

問合せ先兼担当: 西村菜穂子・西堀拓也まで

締め切り : 3月12日(火) 必着 (受付開始はメール到着後からすぐ可能です)

参加決定 : お受けできない場合のみ、メールにてご返信いたします。

主催: 熊本市高齢者支援センターささえりあ鮎田

協賛: 桜十字病院

畠末 憲子

埼玉県立大学

保健医療福祉学部 准教授



日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了。大学病院(看護師)、訪問介護事業所(非常勤ホームヘルパー)、医療福祉系専門学校の教員などを経て現職。主な著書に『高齢期の生活と福祉』(山田知子編、放送大学教育振興会、2015年)、『介護導入テキスト Care Introductory Training』(国際厚生事業団、2014年)、『技術と実践』(2014年度版介護職員初任者研修テキスト第4分冊、介護労働安定センター、2014年)他多数。

参加費
無料!!

